

# 学校教育だより

Narashino Municipal Board of Education



習志野市ご当地キャラ「ナラシンドロ」

令和5年3月1日 発行  
No. 132

発行・編集 習志野市教育委員会  
☎ 047-451-1151 (代表)  
学校教育だよりは  
習志野市ホームページ  
から御覧いただけます



夢、希望、決意を胸に  
新たな出発!



令和5年1月9日(月)に、感染症対策を十分に行いつつ、市内在住の二十歳の方が一堂に会し、「二十歳の門出式」が行われました。昨年は感染症対策の観点から二部制での開催となったことを考えると、各行事において、少しずつ以前の形が戻りつつあることを実感します。式典では、各中学校区の代表者が今後の抱負を述べました。夢と希望に満ち溢れた今後の展望だけでなく、大人として一つひとつの行動に責任をもつことについても決意の言葉を述べ、今後の習志野市、そして日本を担う二十歳の皆さんに頼もしさを感じました。

本号では、小・中・高等学校における児童生徒の活躍を中心に紹介いたします。

テーマ 「習志野っ子の活躍」  
《目次》

- 二十歳の門出式 … 1
- 習志野っ子の活躍(習志野高校ニュース) … 2
- 習志野っ子の活躍(小中学校) / 茶道教室・生け花教室閉講式 … 3
- 小中学校書初展 / 青少年センターの取組 … 4
- 全国学力・学習状況調査結果概要 … 5
- 全国学力・学習状況調査結果概要 / ICTマイスター認証式 … 6
- 特色ある教育活動紹介 ～藤崎小学校～ … 7
- 習志野高校ニュース / 学校体育功労者表彰 … 8
- ／教育長コラム

## 全日本バレーボール高等学校選手権大会 春の高校バレー 第3位!!



私たちの目標のひとつであったセンターコートの試合は、今までのバレー人生の中で一番楽しむことができました。優勝できなかった悔しさは後輩たちに託し、今後必ず全国優勝を成し遂げてくれると信じています。  
主将 大津 陸斗さん

自分の高校バレーが終わったことを強く実感しました。準決勝では、たくさんの方々が現地に応援に来てくださって、自分たちがどれほど支えられてきたか分かりました。そうした方々をはじめ、皆さんに感謝しています。  
優秀選手賞 小田 周平さん

## 千葉県新人体育大会 バレーボール競技

### 男女同時優勝! (36大会ぶり!)



この新人戦で優勝したいと思いやってきたのでとても嬉しいです。練習を手伝いに来てくれた三年生に、感謝を優勝という形で返せたので良かったです。

この結果を次の大会に活かして全国大会出場を目指して頑張りたいと思います。

女子バレー部主将 栗山 瑞希さん



新チームが始動し、試合慣れしていない中での大会でしたが、勝つことができました。

今回の課題を踏まえ、新たな目標設定をし、強化していきたいです。

男子バレー部主将 後藤 悠月さん

## 紅花旗高校剣道大会

### 優勝!



東北地方の強豪校と対戦できたことは良い経験になりました。練習の成果が少しずつ出てきたので、夏に向けて冬場の稽古を大切にしていきたいです。

最優秀選手賞 剣道部主将 加藤 諒大さん

## 関東高等学校空手道選抜大会 優勝!

### 全国選抜大会 出場権獲得!!



3月23日から福岡県で行われる、全国高等学校空手道選抜大会に出場することになりました。日頃の練習の成果を発揮し、より良い結果を残せるようチームで協力して頑張ります。応援よろしくお願ひします。

空手道部 高橋 美結さん

(習志野高校の活躍は P.8 にも掲載しています。)

# 習志野っ子の活躍

小学校

中学校

## 習志野市立第四中学校吹奏楽部 東関東アンサンブルコンテスト フルート三重奏



### 全日本アンサンブルコンテスト出場!

練習し始めた時は、3人の息が合わずとても苦勞しましたが、たくさんの方々の応援や支えのおかげで、諦めずに頑張ることができました。毎日楽しく練習することができ、大会では多くの方に自分たちの演奏を聴いていただくことができとても嬉しかったです。全国大会に向けて練習し、今までよりもさらに成長した姿で舞台上上がり、応援してくださった方々に感謝の気持ちを伝えることができるよう精一杯頑張ります。

(写真：左から 長瀬 咲さん、五十嵐 琴葉さん、房間 綾音さん)

## 習志野市立谷津小学校管弦楽クラブ

### こども音楽コンクール

### 合奏第2部門 文部科学大臣賞受賞!



受賞の報せを聞いた時は、とても嬉しく思いました。私たちはこれまで「いい音楽」を目指して練習してきました。それは、自分たちが楽しいと思うだけでなく、聞いてくださる人たちにも楽しんでもらいたいからです。谷津小学校管弦楽クラブは、80人と大人数ですが、一人ひとりが強い思いをもって練習に取り組んでいます。私たちが楽しく活動できるのも、支えてくださる家族、地域の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

管弦楽クラブ 坂井 絆南さん

## “社会を明るくする運動” 習志野地区作文コンテスト

今年度で72回目を迎えた“社会を明るくする運動”は、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動であり、その一環として作文コンテストを実施しています。1月26日(木)に表彰式が行われ、最優秀賞、優秀賞受賞児童生徒に賞状が授与されました。(文責：教育総務課 芦川)



### 【小学校の部】

- 最優秀賞 真中 匠馬さん (実籾小5年)
- 優秀賞 白石 愛さん (谷津小3年)
- 優秀賞 藤戸 汐里さん (大久保東小6年)
- 優秀賞 高知尾 晴菜さん (東習志野小5年)
- 優秀賞 市川 結唯さん (向山小6年)
- 優秀賞 田中 希実さん (秋津小5年)

### 【中学校の部】

- 最優秀賞 岩崎 桜汰さん (第五中1年)
- 優秀賞 穴戸 瑠夏さん (第二中3年)
- 優秀賞 殿井 莉子さん (第五中1年)
- 優秀賞 井上 侑香さん (第六中1年)



## 国土緑化運動ポスター原画コンクール

農林水産大臣賞千葉日報社賞 田中 里歩さん (谷津南小6年)



## 第68回青少年読書感想文コンクール全国審査結果

小学校高学年課題部門入選 友時 昊志さん (谷津南小6年)

## 北朝鮮人権侵害問題啓発週間作文コンクール2022

中学生部門最優秀賞 吉田 姫愛さん (第五中1年)

## 伝統文化親子教室事業「習志野市いけ花教室」「茶道こども教室」閉講式

親子でコミュニケーションを図りながら、日本の伝統文化に触れることを目的として開催されている「習志野市いけ花教室」、「茶道こども教室」の閉講式が1月21日(土)及び28日(土)に行われました。(文責：教育総務課 芦川)



「茶道こども教室」閉講式にて



「いけ花教室」の様子

私は華道教室には5年間、茶道教室には4年間お世話になりました。はじめはどちらも知らないことが多かったですが、日々のお教室で基礎が身についていく感覚がありました。コロナ期間で、できない時期もありましたが、教室が再開した時は、すごく嬉しかったです。月に1回、先生方やお教室にみんなに会えるのがすごく楽しみでした。秋の文化祭では、普段できない経験ができ、先生方やお教室のみんなのおかげで成長することができました。本当にありがとうございました。

習志野一中3年 八重柏 杏妃さん

# 小中学校書初展

令和5年1月21日(土)に、プラッツ習志野中央公園体育館にて席書会を行いました。3年ぶりに市内全小中学校の代表が集まっての開催となりました。緊張感のある雰囲気の中で一同が堂々と書に向き合っていました。2月2日(木)～2月7日(火)までの期間において、市庁舎1Fにて、特別賞に選ばれた11作品を展示し、多くの方々に御覧いただきました。各小中学校の代表が書き上げた作品には一人ひとりの頑張りがしっかり表れていました。(文責：指導課 狛倉)



市議会議長賞 市長賞 教育長賞

令和4年度小中学校書初展

## 特別賞受賞者紹介

文化連盟会長賞	大久保東小	那智皓太郎さん
市PTA連絡協議会長賞	谷津小	吉田 芽生さん
小中学校長会長賞	津田沼小	出口 心裕さん
小中学校長会長賞	第二中	長島 心優さん
特別支援教育連盟理事長賞	実籾小	中村 麗海さん
特別支援教育連盟理事長賞	第二中	清水 美花さん
学 校 賞	谷津小	工藤 広翔さん
学 校 賞	藤崎小	谷澤 颯亮さん



第七中

田中 杏奈さん



第六中

川城 杏依音さん



屋敷小

門馬 綾さん



## 小学生バス体験学習！！－青少年センターの取組－

青少年センターでは、毎年夏に市民団体と協力して「小学校バス体験学習」を実施し、植物や生き物の成長を学んだり、他の学校の友達と共に活動をする良さを実感したりしています。

今年度は、谷津干潟観察センターに行き、カニなどの干潟に住む生き物と触れ合いました。さらに元市役所職員の方が所有する畑でたくさんの野菜も収穫しました。これからも、多くの小学生が参加してくれることを願っています。(文責：青少年センター 萩原) 主催：習志野市青少年補導委員連絡協議会

### 【参加した児童の感想】

- ・初めてカニに触り、とても可愛かったです。
- ・いろいろな生き物を知ることができてよかったです。
- ・カニがブクブクしているところやゴカイを食べている様子を見ることができて嬉しかったです。



生き物との触れ合い



野菜の収穫体験

## 『子ども110番の家』を知っていますか？

もし、不審者に遭遇したら...

小・中学生が登下校中に不審者などから被害を受けそうになった時、受けた時に助けを求めることができるのが「子ども110番の家」です。黄色いプレートが設置してある場所です。青少年センターでは、市内の子どもたちの安全のために「子ども110番の家」に協力してくださる方を募集したり、子どもたちがその設置場所をしっかりと覚えられるように、学校と連携して取り組んだりしています。

(文責：青少年センター 萩原)

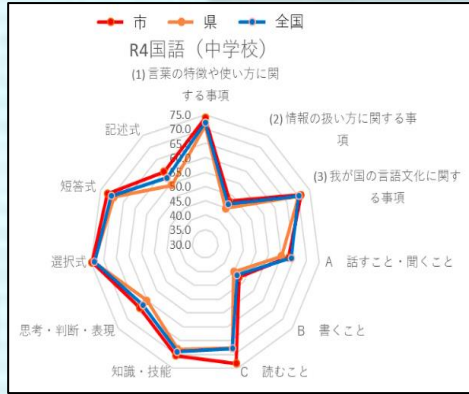
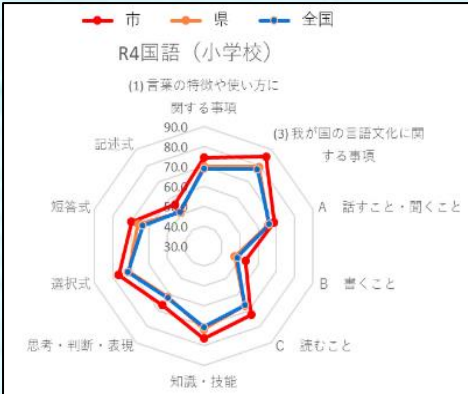


# 令和4年度 全国学力・学習状況調査 結果概要



調査実施日：令和4年4月19日 調査対象：小学校6年生（16校） 中学校3年生（7校）

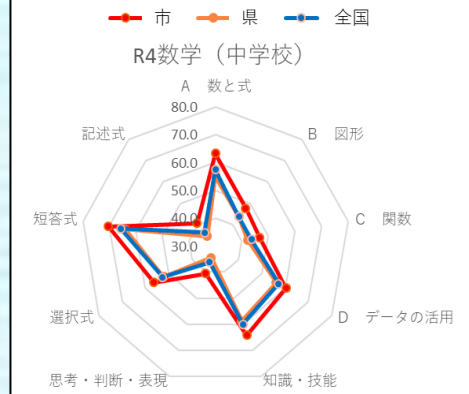
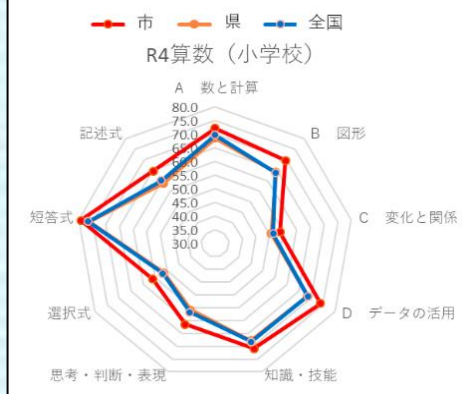
【国語】 小学校6年生	正答率	習志野市	全国	【国語】 中学校3年生	正答率	習志野市	全国
		71%	65.6%			71%	69.0%



**<今後の取組>**  
 【「条件作文」への取組】  
 ・作文への取り組みを継続するとともに、テーマや文字数、取り入れるキーワードなどの条件を付けて取り組む。（作文指導）  
 【話すこと・聞くことの力を高めるための取組】  
 ・スピーチの模範を提示するとともに、発達段階に応じた声の大きさや話す速さなどのポイントを継続して指導していく。  
 ・他者の意見をふまえて、自分の考えをまとめる機会を設ける。

**<課題>**  
 ①内容や文字数などの条件が付いた文章を書くことに課題がある。  
 ②自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話すことに課題がある。

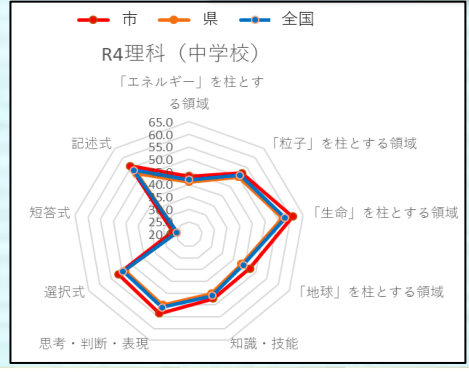
【算数】 小学校6年生	正答率	習志野市	全国	【数学】 中学校3年生	正答率	習志野市	全国
		67%	63.2%			56%	51.4%



**<今後の取組>**  
 【日常の事象とのつながりをもたせるための取組】  
 ・導入などで扱った日常的な事象と学んだ内容を授業の終わりに振り返らせ、他に似たような事象がないかを含め、自分の言葉でノートにまとめさせる。  
 【記述式の正答率向上に向けての取組】  
 ・段階に応じて、キーワードや記号などを穴埋めにする、キーワードを使って説明するなど、まず記述することに慣れ、自信をもたせることが大事である。

**<課題>**  
 ①身に付けた知識・技能を数学的に表現することや、学んだ内容と日常生活が結び付いていないことに課題がある。  
 ③関数、データの活用の知識・技能とその活用に課題がある。

【理科】 小学校6年生	正答率	習志野市	全国	【理科】 中学校3年生	正答率	習志野市	全国
		67%	63.3%			51%	49.3%



**<今後の取組>**  
 【基礎基本を押さえて力を高めるための取組】  
 ・小学校では、実験を行うにあたり器具の正しい名称や扱い方等の基本的事項について、確実に理解させる。中学校では、授業の中で法則や定義などの基礎基本をしっかりと定着させる。  
 【粒子領域の正答率向上に向けての取組】  
 ・粒子のイメージを身に付けさせるために、モデルや模型を使うなどの学習を行う必要がある。

**<課題>**  
 ①実験器具の正しい名称や扱い方等の習得に課題がある。  
 ②粒子領域において、目に見えない部分を想像することに課題がある。

## ならしの学力向上プラン

～令和4年度 全国学力・学習状況調査からわかる課題と取り組み～

学力向上のための授業づくり  
習志野学びずむ

脳に汗かく5分間（本気時間）

発問・板書・ノート指導・タブレット端末の活用

中学校区の「学びスタイル」

「書く力」+「話す力」  
=自分自身の言葉で考えを伝える力の育成が必要

### 【書く時間の確保】

- 【内容】  
○自分の考え+友達の見えや新しい知見を交える  
【場面】  
○「振り返り」の習慣化を図る（ポイント）  
①文字数を制限して書く  
②板書にある言葉（キーワード）を使って書く  
③書く機会を継続して設ける  
※低学年は量を、高学年はど質を褒めてレベルUP

### 【話す力を鍛える】

- 【内容】  
①友達の発言を繰り返す  
②自分の考えを書く（伝える）  
③意見のやり取りを積極的にする（書き言葉・話し言葉）  
【話す技術】  
・声の大きさ・間合い・話す速さ・抑揚等  
・「中学区学びスタイル」の中で、小中学校が連携して指導する

### 自分自身の言葉で考えを伝える

#### 【教師の支援】

##### ○話しやすい環境づくり

《机の配置》  
状況にあった配置をする  
《例》黒板に背を向けない  
島田

##### ○話すとき聞かせるは表裏一体

「聞く側」のポイント  
《見える化》  
①メモを取る  
②友達の発言を繰り返す  
③自分の言葉で言い直す

《話し手の立ち位置》  
全体が見渡せる位置に立つ  
（聞き手に背を向けない）  
島田

【聞き方名人あいさつ】  
①いてを見て  
②っしょうけんめい  
③なずきながら  
④が  
⑤わりまでさこう

《ファシリテートのポイント》  
①発言者ではなく、聞き手を見る  
※反応を見逃さない  
②全体が見渡せる位置に立つ  
③活性化していない児童生徒に対して支援する  
④児童生徒の言葉を教師が復唱しない  
※発言を繰り返したい場合は、他の児童生徒に繰り返させる

教師が「教える授業」から、  
児童生徒が「学ぶ授業」へ

## 本プランの趣旨と概要

令和4年度の全国学力・学習状況調査の分析結果をもとに、児童生徒の学力向上や教職員の授業改善を図ることを目的として「ならしの学力向上プラン」を作成しました。

### 【概要】

数年来の学力・学習状況調査の結果から、本市の小中学生は、記述式問題の正答率が低い傾向が見られます。また、話す力の育成が必要です。

### 【取り組み】

「書く時間の確保」や「話す力を鍛える」ことを意識した授業改善を図ります。

「自分自身の言葉で考え伝える力」を高めることにつなげます。

## ～ICTマイスター認証式～令和5年1月25日（水）場所：総合教育センター

令和5年1月25日（水）に、ICTマイスター認証式を総合教育センターで執り行いました。

小熊教育長から、全マイスター一人一人に対して、認証状とネームカードが手渡されました。

併せて「ICTマイスターの役割の重要性について、さらに今後のICT活用推進に向けての活躍を期待している」という激励をいただきました。

（文責：総合教育センター 笹原）



### ICTマイスター2期生

1期生につきましては、学校教育だより第128号にて紹介しています。

北本 陸（津田沼小）	宮田 祥平（袖ヶ浦西小）	岡田 彩（向山小）	竹元 大明（第三中）
湯浅 誠（大久保小）	福原 幸太（東習志野小）	山本 拓未（秋津小）	二階堂 純（第四中）
向井 宏彰（谷津小）	八木橋 傑（袖ヶ浦東小）	佐藤 優壮（香澄小）	蛭川 功太郎（第五中）
伊良波 倫太郎（鷺沼小）	岡野 礼（屋敷小）	井上 敬（谷津南小）	米川 雅大（第六中）
加藤 智幸（実籾小）	肥田 史宣（藤崎小）	高橋 祐貴（第一中）	中川 颯子（第七中）
野口 佳佑（大久保東小）	岩田 健太郎（実花小）	小川 慧一（第二中）	【計23名】（敬称略）

# 習志野市立藤崎小学校

児童数：574人（学級数22）

教職員数：46人

学校教育目標：生涯を知的に心豊かにたくましく生きる児童の育成



リレー連載

私たちのまち 習志野の学校

No. 16

## 【学校の歴史】

習志野市立藤崎小学校は、1974年（昭和49年）4月1日 習志野市立大久保小学校から分離し、創設。ただし、この時点では、校舎は大久保小学校の校舎を使用していました。1975年（昭和50年）1月30日 完成した新校舎に移転しました。令和5年度に、創立50周年を迎えます。



《明治時代は水田でした》



《校庭は雨のたびにぬかるみになりました》



《菊田川の治水工事が行われ校庭の水はけもよくなりました》

## 【校章について】

藤の花は美しく、つるは互いに支え合って伸び、葉は、繁茂します。藤崎小の校章には、児童が美しい心・たくましい体、確かな学力をもってぐんぐん伸びてほしいという願いが込められています。校内に2か所藤棚があります。業務主任の先生が中心になって、毎年きれいな花を咲かせようと世話をしております。



## 【なかよし活動】

1年生から6年生までを縦割りにしたなかよし活動は藤っ子の大切にしている活動のひとつです。6年生が中心になり、月に1回の活動を行っています。

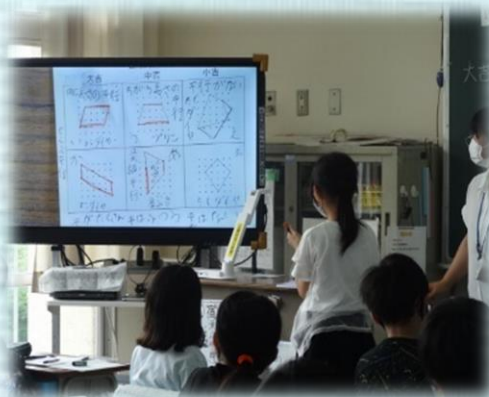


## 【児童会活動】

あいさつ運動や募金活動、いじめ根絶に向けた取組など、児童が中心になって様々な活動を行っています。



## 【算数科研究】



昭和52年から、算数科の研究を継続して行っています。令和4年度は「自ら学び共に育つ算数学習のあり方～数学的な見方・考え方を働かせる授業実践～」という研究主題のもと、研究を進めています。

児童が自分の考えをノートにまとめたり（自力解決の場面）、自身の考えを発表したり（比較検討の場面）する活動において、数学的な見方・考え方を働かせるための手立てを検証、実践しています。日々の学習における振り返りの場면을大切に、児童が多様な見方・考え方（←藤崎小では「算数の宝物」と称しています。）ができるよう日々の授業に取り組んでいます。

## 《おわりに》

ここ数年の社会情勢の変化に困惑をしていますが、児童の成長が止まることはありません。今できることを精一杯行えるように、教職員・保護者・地域と力を合わせ、今後も邁進してまいります。（文責 教頭 神澤 光）

# 世界一への挑戦!!



雑草の如く逞しく

～習志野高校ニュース～



グランプリポルトガル・国際合宿を終えて

アルマダで開催されたグランプリへ、81kg級日本代表として出場しました。初戦はイタリア選手に一本勝ち。2回戦は世界3位のオランダ選手と対戦。序盤に背負い投げで『技あり』を奪うも、終盤に逆転されてしまいました。国際合宿では、様々な外国人選手と稽古をする事ができました。この経験を活かして世界一を目標に頑張ります。

柔道部主将 伊澤 直乙斗さん

# 日本一への挑戦!!



3月20日、21日に日本武道館で開催される第45回全国高等学校柔道選手権大会では、団体戦・個人戦ともに『雑草魂』で日本一を目指して頑張ります。応援よろしくお願いします。

柔道部主将 高橋 叶さん



全国の舞台は二度目ですが、気を抜かずに常に挑戦者の気持ちを持って戦い、優勝します。今大会はチームメイト全員で行けるわけではないですが、遠い鹿児島県からでも仲間間に刺激を与えられる圧倒的な勝ち方をしたいです。

ボクシング部ライトフライ級  
片岡 雷斗さん

## 令和4年千葉県学校体育功労者表彰



第一中学校 天田 正弘 校長先生



令和4年11月18日(金)「千葉県学校体育優良校・功労者顕彰」が行われました。習志野市からは、第一中学校 天田 正弘 校長先生が学校体育功労者として表彰を受け、学校体育の充実発展のために御尽力された功績が讃えられました。(文責:教育総務課 芦川)

## ～好きですふるさと習志野～

## 教育長コラム

現在、プロ将棋の王将戦7番勝負が行われており、藤井聡太五冠と羽生善治九段の対戦は第4局終了時点で2勝2敗、がっぷり四つの状況となっています。令和の時代となり、藤井五冠の強さと天才ぶりが際立っていますが、昭和、平成の将棋界における天才といえば、羽生善治九段をあげることができます。この王将戦を前に、羽生九段が将棋を始めた小2の時のエピソードが新聞記事に取り上げられていました。小2の彼は、小学生の将棋大会参加をきっかけに八王子将棋クラブに通うようになります。当時、クラブの主宰者である道場主と手合わせをする機会があり、「飛角桂香なし」のハンデ戦を行ったところ、ハンデをもらっても羽生少年は全く歯が立ちませんでした。ただ、道場主は少年のまっすぐな瞳が印象に残り、続けてクラブに通ってくれたらと願い、本来7級から始まる認定証を、即席で15級と書いて渡します。その後、毎週通うようになった少年は、あっという間に7級を通過するなど、非凡な才能を発揮し、ついには将棋界のタイトルを総なめする第一人者となります。そして、彼は将棋界を極めた後も、原点である将棋クラブが閉所となるまで、毎年定期的に訪問し、指導対局で子どもたちとの交流を重ねたそうです。(その際、決して謝礼は受け取らなかったとのこと…)将棋だけでなく、学問やスポーツ、芸術においては、興味を持つきっかけは様々です。しかしながら、そのことを「好きになる」、「のめり込む」ことは、周囲の人がいかに背中を押すかにかかってきます。学校の教育活動においては、児童生徒が取り組んでいることを好きになるような(やる気を高める)声掛けや働きかけが大切であり、我々教育に携わる者の役割でもあります。

(教育長 小熊 隆)